

平成20年3月期 第3四半期財務・業績の概況（非連結）

平成20年1月29日

上場会社名 株式会社アクセル
コード番号 6730

上場取引所 JQ
URL <http://www.axell.co.jp/>
TEL (03)5298-1670

代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）佐々木 譲
問合せ先責任者（役職名）取締役 管理グループゼネラルマネージャー（氏名）千代 進弘

（百万円未満切捨て）

1. 平成20年3月期第3四半期の業績（平成19年4月1日～平成19年12月31日）

(1) 経営成績

（%表示は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期（当期）純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	8,374	(63.8)	3,712	(59.7)	3,735	(60.1)	2,278	(59.3)
19年3月期第3四半期	5,113	(△10.1)	2,323	(△21.6)	2,333	(△21.2)	1,430	(△20.1)
19年3月期	7,911		3,923		3,936		2,390	

	1株当たり四半期 （当期）純利益		潜在株式調整後 1株当たり四半期 （当期）純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	18,215	16	18,083	94
19年3月期第3四半期	11,328	86	11,197	65
19年3月期	18,921	50	18,719	02

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20年3月期第3四半期	11,156		9,405		84.3	75,301	68	
19年3月期第3四半期	8,626		7,980		92.5	62,988	01	
19年3月期	10,165		8,947		88.0	70,620	67	

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年3月期第3四半期	1,912		△149		△1,766		8,036	
19年3月期第3四半期	36		△3,602		△1,227		3,065	
19年3月期	1,531		△117		△1,233		8,040	

2. 配当の状況

(基準日)	1 株当たり配当金					
	中間期末		期末		年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
19 年 3 月期	3,600	00	4,000	00	7,600	00
20 年 3 月期	5,000	00	—			
20 年 3 月期 (予想)	—		7,600	00	12,600	00

3. 平成 20 年 3 月期の業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ～ 平成 20 年 3 月 31 日) 【参考】

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	12,400	(56.7)	5,240	(33.6)	5,269	(33.9)	3,180	(33.0)	25,298	32

4. その他

- (1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
 (2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

〔(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。〕

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

通期の業績予想及び 1 株当たりの期末配当金の予想につきましては、平成 19 年 4 月 26 日に開示いたしました予想から修正しております。詳細は、平成 20 年 1 月 29 日公表の「平成 20 年 3 月期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、平成 20 年 1 月 29 日公表の修正後の金額を記載しております。これらの記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期における国内の景気動向は、継続する企業収益の改善傾向を背景とした設備投資の増加や雇用環境の安定した推移等から、全体的に緩やかな回復基調を継続しているものと見られておりますが、原油価格の高騰や米国経済の減速懸念等を受けた国内産業への影響が見られ始めており、先行き不透明な状況となっております。

一方、当社が属する電気機器業界の動向は、一部の半導体製品における在庫調整や価格下落等の影響が見られましたが、デジタル家電やパソコン機器等につきましては安定した推移を示しております。

また、現在当社事業の中心的市場である遊技機器市場の動向といたしましては、過年度に実施された遊技機器に係る規則改正の影響により同市場の縮小が懸念されておりましたが、主に上期中に見られた新基準に適合したパチスロ機の全面的な入替を受けた活発な製造動向と第 3 四半期以降におけるパチンコ機の積極的な製造動向により遊技機器の製造という点で堅調に推移しているものと分析しております。

当第 3 四半期の業績動向を市場別及び製品別に分析いたしますと、遊技機器市場に向けた描画表示用半導体製品に関しましては、パチスロ機における「AG-2」シリーズの採用数量の増加とパチンコ機における液晶の大型化の流れを受けた「AG-2」シリーズから「AG301」への移行が当初想定を超える進捗となっております。

また、同市場向け音源用半導体製品「AS201」や、当第 3 四半期から量産販売を開始した LED 制御用半導体製品「AL-1」シリーズの販売も当初の計画を上回る推移となっております。

更に、組み込み機器市場に向けた描画表示用半導体製品「AG-9」シリーズも、概ね当初計画の通りの販売動向となりました。

以上の結果、当第 3 四半期の売上高は 8,374 百万円（前年同期比 63.8%増）、営業利益は 3,712 百万円（前年同期比 59.7%増）、経常利益は 3,735 百万円（前年同期比 60.1%増）、当四半期純利益は 2,278 百万円（前年同期比 59.3%増）となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

①当第 3 四半期末の財政状態

当第 3 四半期末の資産合計は、前事業年度末に比べて 991 百万円増加となる 11,156 百万円となりました。主な要因は、売掛金の増加（752 百万円）やたな卸資産の増加（276 百万円）等によるものであります。

当第 3 四半期末の負債合計は、前事業年度末に比べて 533 百万円増加となる 1,750 百万円となりました。主な要因は、買掛金の増加（576 百万円）等によるものであります。

当第 3 四半期末の純資産合計は、前事業年度末に比べて 458 百万円増加となる 9,405 百万円となりました。主な要因は、当四半期純利益（2,278 百万円）の計上による増加に対し、剰余金の配当（1,130 百万円）や自己株式の取得（662 百万円）等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により得られた資金は 1,912 百万円となりました。

これは主に、当第 3 四半期における税引前四半期純利益（3,735 百万円）や仕入債務の増加（576 百万円）等に対し、売上債権の増加（752 百万円）、たな卸資産の増加（276 百万円）及び法人税等の支払（1,562 百万円）等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により支出した資金は 149 百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の取得 (88 百万円) 及び無形固定資産の取得 (53 百万円) によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により支出した資金は 1,766 百万円となりました。

これは主に、配当金の支払 (1,125 百万円) と自己株式の取得による支出 (662 百万円) によるものであります。

以上の結果、当第 3 四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べて 3 百万円減少して 8,036 百万円となりました。

3. 業績予想に関する定性的情報

当期の遊技機器市場におきましては、遊技機器に係る規則改正の影響による同市場の縮小懸念が持たれておりましたが、遊技機器の製造という観点では、特に上期におけるパチスロ機に係る新基準適合機への入替え需要を受けた活発な製造動向と当第 3 四半期における大型の液晶表示装置を搭載したパチンコ機の積極的な製造動向が見られ、パチンコ機においては当第 4 四半期以降もこのような製造動向が継続する見通しとなりました。

以上のような市場環境の中、描画表示用半導体製品の従前主力製品でありました「AG-2」シリーズから高解像度液晶に対応する新たな主力製品である「AG301」への移行が当初の想定を上回る進捗となり、当第 4 四半期以降も同様に推移するものと分析しております。

また、音源用半導体製品や LED 制御用半導体製品等につきましても、当第 3 四半期末までの進捗と受注状況等を総合的に勘案すると概ね当初計画を上回る数量になるものと分析しております。

このような状況を踏まえ、平成 20 年 3 月期の業績予想を売上高 12,400 百万円、営業利益 5,240 百万円、経常利益 5,269 百万円、当期純利益 3,180 百万円に修正しております。

なお、詳細につきましては、平成 20 年 1 月 29 日公表の「平成 20 年 3 月期業績予想及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

①法人税等の計上基準につきましては、法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

②たな卸資産に関して、実地たな卸を行わず帳簿たな卸により算定しております。

(2) 最近事業年度からの会計処理の方法の変更

法人税法の改正に伴い、有形固定資産の減価償却については、改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。なお、この変更による影響額は軽微であります。

5. (要約) 四半期財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

(単位：百万円、%)

区分	前年同四半期末 (平成19年3月期 第3四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第3四半期末)	増 減		(参考) 平成19年3月期末
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1. 現金及び預金	3,063	4,038	975	31.8	4,542
2. 売掛金	1,131	2,047	916	81.0	1,295
3. 有価証券	3,498	3,997	499	14.3	3,498
4. たな卸資産	92	298	206	223.1	22
5. その他	163	149	△13	△8.1	143
流動資産合計	7,948	10,532	2,583	32.5	9,501
II 固定資産					
1. 有形固定資産	213	228	15	7.4	199
2. 無形固定資産	115	126	10	9.4	108
3. 投資その他の資産	348	268	△79	△22.9	356
固定資産合計	677	623	△53	△7.9	663
資産合計	8,626	11,156	2,530	29.3	10,165
(負債の部)					
I 流動負債					
1. 買掛金	285	809	523	183.3	233
2. 未払法人税等	159	683	524	329.3	795
3. その他	149	243	94	63.0	142
流動負債合計	594	1,737	1,142	192.1	1,170
II 固定負債					
1. 繰延税金負債	50	13	△37	△73.6	46
固定負債合計	50	13	△37	△73.6	46
負債合計	645	1,750	1,105	171.2	1,217
(純資産の部)					
I 株主資本					
1. 資本金	1,018	1,018	—	—	1,018
2. 資本剰余金					
資本準備金	861	861	—	—	861
資本剰余金合計	861	861	—	—	861
3. 利益剰余金					
(1) 利益準備金	1	1	—	—	1
(2) その他利益剰余金					
別途積立金	4,300	5,600	1,300	30.2	4,300
繰越利益剰余金	1,702	2,131	429	25.2	2,662
利益剰余金合計	6,003	7,733	1,729	28.8	6,963
4. 自己株式	—	△262	△262	—	—
株主資本合計	7,883	9,351	1,467	18.6	8,844
II 評価・換算差額等					
その他有価証券評価差額金	96	54	△42	△43.7	103
評価・換算差額等合計	96	54	△42	△43.7	103
純資産合計	7,980	9,405	1,425	17.9	8,947
負債純資産合計	8,626	11,156	2,530	29.3	10,165

(2) (要約) 四半期損益計算書

(単位：百万円、%)

区分	前年同四半期 (平成 19 年 3 月期 第 3 四半期)	当四半期 (平成 20 年 3 月期 第 3 四半期)	増 減		(参考) 平成 19 年 3 月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	5,113	8,374	3,260	63.8	7,911
II 売上原価	1,488	3,296	1,808	121.5	2,280
売上総利益	3,625	5,077	1,452	40.1	5,630
III 販売費及び一般管理費	1,301	1,365	64	4.9	1,707
営業利益	2,323	3,712	1,388	59.7	3,923
IV 営業外収益	10	26	15	144.9	14
V 営業外費用	0	2	1	171.0	0
経常利益	2,333	3,735	1,401	60.1	3,936
VI 特別損失	—	0	0	—	—
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,333	3,735	1,401	60.1	3,936
税金費用	903	1,456	553	61.2	1,545
四半期(当期)純利益	1,430	2,278	848	59.3	2,390

(3) (要約) 株主資本等変動計算書

前第 3 四半期 (自平成 18 年 4 月 1 日 至平成 18 年 12 月 31 日)

(単位: 百万円)

	株主資本				評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計		
平成 18 年 3 月 31 日 残高	999	842	5,891	7,733	79	7,812
四半期中の変動額						
新株の発行	19	19		38		38
剰余金の配当			△1,273	△1,273		△1,273
役員賞与			△45	△45		△45
四半期純利益			1,430	1,430		1,430
株主資本以外の項目の 四半期中の変動額 (純額)					17	17
四半期中の変動額 合計	19	19	112	150	17	167
平成 18 年 12 月 31 日 残高	1,018	861	6,003	7,883	96	7,980

当第 3 四半期 (自平成 19 年 4 月 1 日 至平成 19 年 12 月 31 日)

(単位: 百万円)

	株主資本					評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計		
平成 19 年 3 月 31 日 残高	1,018	861	6,963	—	8,844	103	8,947
四半期中の変動額							
新株の発行					—		—
剰余金の配当			△1,130		△1,130		△1,130
役員賞与					—		—
四半期純利益			2,278		2,278		2,278
自己株式の取得				△662	△662		△662
自己株式の処分			△47	68	20		20
自己株式の消却			△331	331	—		—
株主資本以外の項目の 四半期中の変動額 (純額)						△48	△48
四半期中の変動額 合計	—	—	769	△262	506	△48	458
平成 19 年 12 月 31 日 残高	1,018	861	7,733	△262	9,351	54	9,405

前事業年度 (自平成 18 年 4 月 1 日 至平成 19 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円)

	株主資本				評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計		
平成 18 年 3 月 31 日 残高	999	842	5,891	7,733	79	7,812
事業年度中の変動額						
新株の発行	19	19		38		38
剰余金の配当			△1,273	△1,273		△1,273
役員賞与			△45	△45		△45
当期純利益			2,390	2,390		2,390
株主資本以外の項目の事 業年度中の変動額 (純額)					23	23
事業年度中の変動額 合計	19	19	1,072	1,111	23	1,134
平成 19 年 3 月 31 日 残高	1,018	861	6,963	8,844	103	8,947

(4) (要約) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前年同四半期 (平成 19 年 3 月期 第 3 四半期)	当四半期 (平成 20 年 3 月期 第 3 四半期)	(参考) 平成 19 年 3 月期
区分	金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税引前四半期(当期)純利益	2,333	3,735	3,936
減価償却費	85	93	115
長期前払費用償却額	11	13	15
繰延資産償却額	0	—	0
受取利息及び受取配当金	△3	△6	△3
売上債権の増減額(増加：△)	△753	△752	△916
たな卸資産の増減額(増加：△)	△79	△276	△8
その他流動資産の増減額(増加：△)	19	△3	15
仕入債務の増減額(減少：△)	195	576	143
その他流動負債の増減額(減少：△)	△15	60	△46
未払消費税等の増減額(減少：△)	△50	26	△10
役員賞与の支給額	△45	—	△45
その他	△5	△16	△9
小計	1,694	3,450	3,187
利息及び配当金の受取額	7	23	10
法人税等の支払額	△1,666	△1,562	△1,666
営業活動によるキャッシュ・フロー	36	1,912	1,531
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有価証券の売却による収入	—	—	3,496
有価証券の取得による支出	△3,496	—	△3,496
有形固定資産の取得による支出	△108	△88	△115
無形固定資産の取得による支出	△59	△53	△64
その他	62	△8	62
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,602	△149	△117
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
株式の発行による収入	38	—	38
株式の発行による支出	△0	—	△0
自己株式の処分による収入	—	20	—
自己株式の取得による支出	—	△662	—
配当金の支払額	△1,265	△1,125	△1,270
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,227	△1,766	△1,233
IV 現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	△4,794	△3	181
V 現金及び現金同等物の期首残高	7,859	8,040	7,859
VI 現金及び現金同等物の第 3 四半期末(期末)残高	3,065	8,036	8,040

6. 生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

当第 3 四半期会計期間の生産実績は次のとおりであります。

製品区分	当第 3 四半期会計期間 〔自平成 19 年 4 月 1 日〕 〔至平成 19 年 12 月 31 日〕		前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	前年同期比 (%)	
特定用途向 L S I (ASSP) (百万円)	9,099	167.7	
顧客専用 L S I (ASIC) (百万円)	9	88.3	
合計 (百万円)	9,109	167.5	

- (注) 1. 金額は販売価額によっております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3. ASSP とは、Application Specific Standard Product の略。特定のアプリケーション、使用目的のために設計、製造される LSI で、複数の顧客に対して販売を行うものをいいます。また、ASIC とは、Application Specific Integrated Circuit の略で、特定顧客の特定アプリケーション、使用目的のために設計、製造される LSI で、開発を依頼された特定顧客に対してのみ販売を行うものをいいます。

(2) 受注状況

当第 3 四半期会計期間の受注実績は次のとおりであります。

製品区分	当第 3 四半期会計期間 〔自平成 19 年 4 月 1 日〕 〔至平成 19 年 12 月 31 日〕			
	受注高(百万円)	前年同期比 (%)	受注残高(百万円)	前年同期比 (%)
特定用途向 L S I (ASSP)	9,224	163.9	4,069	159.2
顧客専用 L S I (ASIC)	4	31.1	—	—
合計	9,229	163.5	4,069	158.6

- (注) 1. 金額は販売価額によっております。
 2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第 3 四半期会計期間の販売実績は次のとおりであります。

製品区分	当第 3 四半期会計期間 〔自平成 19 年 4 月 1 日〕 〔至平成 19 年 12 月 31 日〕		前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	前年同期比 (%)	
特定用途向 L S I (ASSP) (百万円)	8,364	163.9	
顧客専用 L S I (ASIC) (百万円)	9	88.3	
合計 (百万円)	8,374	163.8	

- (注) 1. 金額は販売価額によっております。
 2. 前第 3 四半期会計期間及び当第 3 四半期会計期間の主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は次のとおりであります。

相手先	前第 3 四半期会計期間 〔自平成 18 年 4 月 1 日〕 〔至平成 18 年 12 月 31 日〕		当第 3 四半期会計期間 〔自平成 19 年 4 月 1 日〕 〔至平成 19 年 12 月 31 日〕	
	金額 (百万円)	割合 (%)	金額 (百万円)	割合 (%)
緑屋電気株式会社	4,776	93.4	7,862	93.9

(注)上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

7. 最近における四半期毎の業績の推移

平成20年3月期

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	第1四半期 19年4月～19年6月	第2四半期 19年7月～19年9月	第3四半期 19年10月～19年12月	第4四半期 20年1月～20年3月
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	2,706	2,177	3,490	—
売上総利益	1,723	1,365	1,988	—
営業利益	1,310	923	1,477	—
経常利益	1,319	929	1,486	—
税金等調整前当期純利益	1,319	929	1,486	—
当期純利益	803	559	915	—
1株当たり当期純利益	6,394円63銭	4,483円64銭	7,337円25銭	—
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
	百万円	百万円	百万円	百万円
総資産	9,899	10,372	11,156	—
純資産	8,580	9,107	9,405	—
1株当たり純資産	68,805円21銭	72,968円22銭	75,301円68銭	—

平成19年3月期

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	第1四半期 18年4月～18年6月	第2四半期 18年7月～18年9月	第3四半期 18年10月～18年12月	第4四半期 19年1月～19年3月
	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高	1,848	1,854	1,410	2,797
売上総利益	1,293	1,327	1,003	2,005
営業利益	934	827	561	1,599
経常利益	938	830	565	1,602
税金等調整前当期純利益	938	830	565	1,602
当期純利益	569	510	350	960
1株当たり当期純利益	4,526円08銭	4,041円88銭	2,767円01銭	7,581円38銭
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	第4四半期末
	百万円	百万円	百万円	百万円
総資産	9,970	9,228	8,626	10,165
純資産	7,516	8,064	7,980	8,947
1株当たり純資産	59,687円21銭	63,761円06銭	62,988円01銭	70,620円67銭